

# ゲュー GEW

9

SEPTEMBER  
2023  
vol.547

gew.co.jp



SPECIAL FEATURE

# 酷暑列島ニッポン ゴルフ産業の現状と課題

Golf Economic World  
ゴルフ産業を社会に広めるネットワーク・マガジン



# 編集会議

## Editorial Meeting



## キャディにファン付きウェアの支給続々 灼熱のゴルフマーケットでどうなる業界？

**記者A** 熱いッ。暑すぎるよ！

**記者B** マジで今年の夏は辛いですね。ゴルフ用具の動画撮影で熊谷GCに行くんですが、マジでヤバイです。

**記者A** 熊谷は日本一暑いって言われるからねえ。大丈夫？

**記者D** なんとかやっていますが、熱中症対策を万全にしないとダメですね。

**記者B** 業界人も、夏ゴルフでやられる人が増えてます。テラーメイドの柴崎さんは水を4ℓ飲んでプレーしたけど翌日吐き気が止まらなくて、病院行ったら「熱中症です」だって。ミネラルウォーターじゃダメですね、って改めて怖さを話しました。

**記者A** 水じゃダメなんだよ。体液に近い経口補水液を飲まないと、体内の水分がどんどん外に出ちゃう。経口補水液は赤ちゃんが母親の体内にいるときの羊水と同じ成分で、点滴と同じ成分だから身体に水分を溜められるんだ。

**記者C** へえ、詳しいですねえ。

**記者A** 去年、富山県の五洲薬品を取材して学びました。Bくんも一緒にね。

**記者B** あれは勉強になりました。五洲薬品のは富山の海洋深層水を使った補水液で、地元の大学と共同研究して「熱中症に効く」ってエビデンスもある。それをゴルフ界に売り込もうって話ですが、なかなか浸透しないって。

**記者E** なぜですか？



**記者A** スポーツドリンクより値段が高いのと、ゴルフ場の意識が育ってないこともあるだろうね。業界に、熱中症対策をきちんとやろうって気運が育ってないし、暑さ指数(WBGT)の計測器も大半のゴルフ場はないんじゃないかな。それで問題なのが従業員の健康で、キャディやコース管理のスタッフはかなり過酷な状況に置かれている。

**記者B** それで熊谷GCなんですけど、キャディにファン付きウエアを支給したそうです。市川和子さんによると、

**記者A** ダレ？

**記者B** 熊谷のキャディさんです。彼女いわく「背中を風が通り抜けてととても快適よ」って喜んでました。

**記者E** その話、僕もよく聞きます。川奈と栃木のイーストウッドは今年から、キャディさんにファン付きウエアを支給しはじめました。今年から、っていうコースが多いんですよ。

**記者A** 栃木で3コースを展開する鹿沼グループもファン付きウエアを導入して、水分補給と休憩を励行している。

**記者D** いいことですね。スタッフに気持ちよく安全に働いてもらうことは大事だし、いろんなファン付きウエアが登場して、性能も年々よくなってます。

**記者A** Dくんはファン付きウエアメーカーを担当しているけど、ゴルフ市場での商売は好調なのかね？

**記者D** つるやゴルフがここ数年オリジナルのファン付きウエアを販売していますが、今年は特に売れていて、本店は早い段階で完売したようですよ。

**記者A** あとは氷嚢で『V12』っていうのが人気なんだってね。氷嚢もブランドの時代なんだ？

**記者D** 都内のダブルイーグルでも『V12』は売れていて、ほかのゴルフショップでも人気だそうです。ダブルイーグルの山田店長は以前、PGAのスーパーストアに勤めていたそうで、

**記者C** やたらデカイ店だよな。

**記者D** はい。あの規模の売り場だと氷嚢を100個ぐらい店頭に並べて、猛暑コーナーを作り込むとバンバン売れるって話でした。

### 練習場業界は お手上げ状態

**記者B** 夏のゴルフ場はビジネス面ですうなんですかね？

**記者A** 鹿沼グループから数字をもらいました。7月は鹿沼が100・7%、鹿沼72が100%、栃木が丘が104・9%と好調だったようだね。

**記者C** 千葉の紫Cあやめコースも7月は7%増という話です。

**記者A** 7月はどこも数字をつくってる感じで、147コースのPGMも入場者

は4・7%伸びている。だけど8月はどうだろう。鹿沼の場合は3コースで86・8%、91・2%、92・5%(各8月22日現在)で「かなり苦戦」という状況だったみたい。残暑と台風、レジャーの分散が響いたって話だよな。

**記者C** そう言えば、鹿沼は10年くらい前に「しかごるくん」というゆるキャラを作って、スタッフが着ぐるみに入っていました。夏休みにゴルフ場を子供に開放して「しかごるくん」も人気だったけど、どうなったんでしょう？

**記者A** それを聞いたら、今は「夏は着てません」って。

**記者C** ですよ。「しかごるくん」は涼しい季節に活躍してもらわないと。

**記者B** ともかく5、6月のゴルフ場は台風と大雨で全国的に苦戦した。7月には持ち直したけど、8月に入ってまた苦戦という感じかな。練習場はどう？

**記者D** はい、もうお手上げ状態だと思います。ロイヤルグリーン水戸の磯崎社長も「夏枯れは深刻」って話だし、この夏はどこも空打席が目立ちますよね。熱中症対策もツメシボと扇風機、場合によってはドライミストって感じでしようが、日中は厳しいと思います。

**記者C** 33度で2割減という法則があるんだってね。

**記者D** ん？

**記者C** 越谷ゴルフリンクスの中村社長

が提唱してるんだけど、あそこは2013年から気象データの収集を始めていて、気温や湿度、気圧で来場動向がどうなるかを分析してる。

**記者D** へえ、すごいですねえ。

**記者C** それで33度超えると何をどう頑張っても売上はつけれない、どうにもならないって話でね。だいたい、誰も外に出ないから……。

**記者A** そういう話聞くとさあ、逆に頑張ってみたくなっちゃうよね。35度の猛暑日に百発打って、汗ダラダラかきたいよね、サウナみたいな。

**記者B** 死にますよ。

**記者A** そお？

**記者C** 歳を考えてください。

**記者A** ……はい。

**記者B** お盆中に、インドアのゼンゴルフに行っただんですよ。そしたら午前中は女性会員でいっぱい。屋内の快適な空間で練習して、秋の涼しいゴルフに備えよう、と。そんな女性が目立つんです。

**記者D** この猛暑で、屋外と屋内の差がハッキリ出てきました。ゴルフ市場の在り方が変わるんじゃないですか。

**記者A** 夏にキャディは過酷すぎるから、先月Cくんが書いていたAーキャディや自動芝刈り機がシェアを伸ばすかもしれないし、ゴルフ界も対応を迫られる。灼熱のゴルフ業界を、いろんな角度から取材してみようか。